



未来を夢見て Season 2

2021/7/27 No. 91

台風8号上陸間近～夏の日に「体育専科」に思いをはせて～

7月27日（火）、台風8号の影響を心配して、本日の「サマースクール」を中止にしましたが、午後からは久しぶりに青空も顔をのぞかせ、しばし夏の日差しが戻ってきました。ただ空を見ると南の空からゆっくりゆっくり雲が流れています。昨日のニュースでは例年の7月の一月分の雨が降るようですが、大きな被害が出ないことを心から祈るばかりです。



今日は保護者面談2日目。教室を回ってみると、昨年度はなかった担任と保護者の皆様が対話している光景を目にして、ほっとすることができました。きっと保護者の皆様も自分のお子さんの担任の先生とお話してきたことは大きな安心材料を得たことと思います。

最近、メールやLINEでのやり取りが一般的になり、昔は各家庭にあった固定電話も過去のものになりつつあるようです。もちろん、メールやLINEは大変便利ですが、相手とコミュニケーションを図るには対面に勝るものはありません。相手の表情や仕草、間などから時に言葉以上のことを感じる、きっと先生方も経験なさっていることと思います。



さて、この貴重な午後の晴れ間を利用して、今野さんと杉本さんが校地内の垣根（ベニカナメ）の伐採を進めてくださいました。蒸し暑い中での作業でしたが、お二人の手際のよい作業で写真のように垣根はすっきり生き返りました。今野さん、杉本さん、暑い中ありがとうございました。

さて、先日の河北新報の記事に文科省方針「体育も教科担任制」という記事を見つけました。本校でも進めている高学年の教科担任制（算数、理科、音楽、英語）に体育も加える予定、との記事でした。理由は「ベテラン教員の負担軽減」とか……。なるほど、伸び盛りの子供たちと一緒に動くとすれば大変です。でも、私が知っている「名人芸」の持ち主の体育の授業は、先生は涼しい顔で汗一つ流しません、子供たちは導入から汗を一杯かいて動いていました。そして、授業の最後に子供が言った一言が忘れられません（ああ、今日も楽しかった！）。



校長室からいつも拝見する小野小学校の先生方の体育での子供の動かし方もみなさん素晴らしいものがあります。ベテランの先生の味のある体育の授業が現場からなくならないことを祈るばかりです。

（文責：手代木）